

和地ひとみレポート No.193

平成28年度予算は賛成多数で可決。来年度予算は
今年度より約26億アップの535億9,045万円

■平成28年度予算を可決

…2月24日から開催されていたH28年東大和市議会第1回定例会の会期中に持たれたH28年度予算特別委員会。一般会計と5特別会計について3日間審議を行い、議会定例会最終日、賛成多数でH28年度予算は可決されました。(主な予算概要は裏面をご参照ください)

…ここ数年、東大和市の年度当初予算規模は毎年増加しています。特に市の基本的な行政運営を行う財源の一般会計については、H28年度当初予算は、H27年度当初予算より18億8,800万円増(6.2%増)の323億7,900万円という規模になりました。

【一般会計財政規模の推移】 (単位:百万円、%)

年度	24	25	26	27	28
金額	26,907	27,465	28,366	30,491	32,379
伸び率	▲0.3	2.1	3.3	7.5	6.2

…今年度の一般会計の予算を見ると、様々な優先施策で、新規事業が計上されています。また、市内の大規模事業である(仮称)総合福祉センター開設に伴う経費(今年10月開設予定)、新学校給食センター建設、稼働に向けた経費(来年4月から本格稼働予定)、市役所本庁舎の耐震工事の経費が計上されているほか、様々な報道がされている「国の予算」(臨時福祉給付金、児童扶養手当の拡充)による経費も計上されたことが、大きな要因といえます。

…一方、様々な事業などに備えて積み立てていた『基金=市の貯金』については、今年度末残高は43億5600万円ですが、来年度予算では約17億円を上記の大事業などで取り崩し、来年度末の残高は26億5875万円となる見込みです。また、市の借金である市債は、以下の表のとおり、毎年増えている状況です。

【市債の動向】 (単位:百万円)

	H26	H27	H28
一般会計	18,563	19,655	21,048
うち臨時財政対策債	12,962	13,526	13,916
下水道事業	11,411	10,866	10,310
合計	29,974	30,521	31,358



…市の基金の中の「財政調整基金」は財源不足に備えるため、決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金ですが、一般的に、この基金の額は「標準財政規模」(地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模)の10%が適正とされています。直近のH26年度の東大和市の標準財政規模は159億2,927万円ですので、15億9292万円が適正ですが、H28年度予算では取り崩し額が6億2,000万円という状況。H28年度末の残高は約16億円で適性を維持していますが、今後も積み立てと取り崩しのバランスを考えていく必要があります。

■都や国の補助金、助成金を積極活用

…今年度の新規事業の財源を見ると、国や都の補助金や助成金を積極的に活用しようという姿勢が見て取れます。特に子育て関連、教育関連の事業に関しては、国や都の政策の影響もあり、新規事業の多くは補助金や助成金を活用しています。子育てや教育の予算や新規事業が増えることは喜ばしいことですが、これらの補助金、助成金は期限(1年限りや3年など)のあるものがほとんどです。今ある補助金、助成金の期限が終わったあと、それに代わる補助金や助成金が設置されれば、東大和市としては事業を継続することはできますが、もし、代替する補助金や助成金が設置されなければ、その事業を市の財源だけで行わなければならないようになります。

■賛成討論では

…定例会最終日に私はH28年度予算案に対し、賛成討論を行いました。討論の中では、子育て施策や公園の特徴化などの推進を評価。また、「国民健康保険事業特別会計」「下水道事業特別会計」については条例改正により、『地方公営企業』のあるべき姿の独立採算制に少し近づいた内容になった点も評価しました。一方で、期限付きの補助金や助成金を活用したことが「目先だけの場当たりのな」事業とならないよう、長期的な視点で考え、市長を先頭に職員全体で市民サービスの向上のため、情報、ニーズを集め、創意工夫をし、財源を最大限に活かした事業効果を実現することを要望しました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/「人を活かす」経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

■平成28年度予算の財政規模(金額単位は千円)

会計名	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率	
一般会計	32,379,000	30,491,000	1,888,000	6.2%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	10,977,178	10,919,443	57,735	0.5%
	下水道事業特別会計	2,201,210	2,189,183	12,027	0.5%
	土地区画整理事業特別会計	214,982	221,851	▲6,869	▲3.1%
	介護保険事業特別会計	6,003,325	5,444,247	559,078	10.3%
	後期高齢者医療特別会計	1,814,760	1,736,012	78,748	4.5%
特別会計合計	21,211,455	20,510,736	700,719	3.4%	
総合計	53,590,455	51,001,736	2,588,719	5.1%	

■歳入予算における一般財源の額と割合(金額単位は千円)

一般会計予算の歳入における市税は、歳出予算の財源内訳において、一般財源として表します。

一般会計歳入予算は323億7900万円です。そのうちの一般財源総額183億3929.2万円はどのような経費にも使うことができる(=使途に縛りがない)財源のことで、市税を主なものとする以下のものが一般財源です。

		予算額	一般財源に占める割合
①市税	市民税個人・法人、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税など	12,319,667	67.2%
②国からの交付金	地方譲与税、地方交付税など	1,978,694	10.8%
③東京都からの交付金	都税に連動する交付金で、地方譲与税、自動車取得税、利子割交付金など	2,043,546	11.1%
④財政調整基金の取り崩し	積立基金(≡市の貯金)の取り崩しで、特定目的基金(特別な目的のための貯金)を除く	618,409	3.4%
⑤臨時財政対策債	地方財政の一般財源を補てんする市債(借入金)	1,100,000	6.0%
⑥その他	繰越金、行政財産の目的外使用料、過年度事業の精算に伴う収入など	278,976	1.5%

■一般会計歳出予算(金額単位は千円)

		平成28年度	平成27年度(当初予算)	比較	増減率
議会費	市議会運営のための費用	302,037	337,752	▲35,715	▲10.6%
総務費	防犯対策や市役所の運営の費用	3,112,688	2,985,009	127,679	4.3%
民生費	高齢者や障害者、児童福祉などのための費用	17,045,680	16,089,757	955,923	5.9%
衛生費	保健や予防、ごみ処理などのために使われる費用	2,399,996	2,357,673	42,323	1.8%
労働費	中小企業労働者への融資に要する費用	3,020	3,020	0	0.0%
農林業費	農業の振興などのための費用	50,682	52,622	▲1,940	▲3.7%
商工費	商工業の振興などのための費用	123,338	121,128	2,210	1.8%
土木費	道路や公園、下水道の整備などのための費用	1,417,285	1,779,137	▲361,852	▲20.3%
消防費	災害対策などのための費用	1,147,247	1,112,992	34,255	3.1%
教育費	学校や図書館、公民館の運営などのための費用	5,133,412	4,057,590	1,075,822	26.5%
公債費	借入金の返済のための費用	1,612,474	1,563,199	49,275	3.2%
諸支出金	基金の積立など、その他の費用	1,141	1,121	20	1.8%
予備費		30,000	30,000	0	0.0%
歳出合計		32,379,000	30,491,000	1,888,000	6.2%

■各家庭が収めた税金の使途(金額単位は円)

市民税(個人)の歳入予算額をH28年1月1日現在の世帯数37,966世帯で割ると、約137,000円(昨対+3000円)になります。それを、各家庭が1年間に収める税金の額とした場合の使徒別の金額は右記の通りです。(上から多い順)

使 途	主な内容	金 額	割 合
民 生 費	高齢者や障害者、児童福祉などに使用	¥58,499	42.7%
教 育 費	学校や図書館、公民館の運営などに使用	¥18,221	13.3%
総 務 費	防犯対策や市役所の運営などに使用	¥18,221	13.3%
衛 生 費	保健や予防、ごみ処理などに使用	¥12,467	9.1%
公 債 費	借入金の返済のために使用	¥11,645	8.5%
土 木 費	道路や公園、下水道の整備などに使用	¥8,631	6.3%
消 防 費	災害対策などに使用	¥5,891	4.3%
議 会 費	市議会運営のために使用	¥2,192	1.6%
農 林 業 費・商 工 費	農業や商工業の振興などに使用	¥959	0.7%
労働費・諸支出金等	—	¥274	0.2%
合 計	—	¥137,000	100%